

ののうち誠

vol.2

〒699-0108
松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX(0852)52-3117



ホームページを開設しました
お気軽にケイタイからご覧いただけます

議会報告・後援会だより

E-mail: nonouchi@mable.ne.jp
HP: http://www.mable.ne.jp/~nonouchi

発行日: 2012.1.24



幸福度を 高めましょう

新しい年を迎え、皆様方には益々お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。おかげ様で野々内は、毎日元気で地域の皆様の声を市政に届けるためがんばっています。どこかで見かけられたら、ぜひ声をかけてください。

さて、8月の合併から5ヶ月余りが経過しましたが、東出雲地域の市民の皆様は、合併に賛成した方、合併に慎重だった方を含めて期待と不安両方を抱えていらつしやいます。いずれの皆さんも、合併してよかったですといただけるような市政が求められており、その実現をめざす野々内に、本年もご支援やご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

昨年は、国難と言える東日本大震災と原発事故を始め大きな災害が襲いかかりましたが、国民全員の課題として、その復旧を急がねばなりません。

一方、昨年は国民総幸福度(GNH)で知られる、ブータン国王夫妻が来日された明るい話題がありました。したが、全国の自治体でも住民の幸福度を探り、政策立案に生かそうとする動きが広がりました。

法政大学でも40の指標から算出した都道府県の幸福度ランキングを作りしました。保育所に入りやすい、下水道普及率、くつろぎの時間が長い、老衰で亡くなる人が多いなど、身近な指標からできていますが、ちよつといじれば順位が変わるという特性もあるようです。このランキングを見ると1位は福井、2位は富山、3位は石川。島根は8位、鳥取は4位となっていました。ちなみに最下位は大阪でした。

さて、同じ指標から松江市、東出雲地域を算出すればどういう位置になるでしょうか。

身近な課題の達成度が幸福度につながると思いますが、身近な課題の解決には地道な努力を行政と市民双方がすべきと考えています。さあ、一緒に一歩を踏み出しましょう。

最終の東出雲町決算を認定 12月市議会

12月市議会は12月2日から22日までの会期で開催。平成23年度東出雲町決算(4月から7月までの合併までの予算)の認定、補正予算では、しんじ幼保園の地盤沈下対策費やエコクリーン松江溶融炉損傷事故対策費などが計上されました。条例改正では、開発行為で設置された東出雲町内の20公園を市の普通公園とするものなどが提案され、全て全会一致で認められました。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

【野々内は初の一般質問を行いました】

合併後は身近な相談先が限られていることから、野々内にも沢山の皆様からの相談や質問がきています。その中の5点を松浦市長や松江市執行部にいただきました。(一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)次ページで概要を紹介いたします。

一般質問を

行いました

Q1、ものづくり
産業の振興について



三菱農機が三菱重工の完全子会社となり、協力会社には製品を他メーカーから供給されると仕事がなくなるといった危機感を持つところも少なくありません。市内の協力企業の影響をお尋ねします。

(A)松浦市長：県、市、商工会、地元企業で設置した研究会で、協力企業が持つ技術を生かした企業間連携、技術力向上に取り組む方針を確認しています。そして、新機種や新製品の受発注、三菱農機以外の発注先の開拓、新分野への参入なども実現に向けて検討支援を行っていきます。

新規の仕事の取り込みには、産業支援センターの役割がより高まると思います。が、市内の製造業の更なる発展のために必要な事とは何だと考えますか。

(A)松浦市長：今の技術力では新しい受注が困難という話もあり、技術力の向上、人材育成が必要です。産業支援センターを核に企業や県産業技術センター等と連携し、ものづくりの町、東出雲町の発展に貢献していききたいと思います。

利子補給などの間接的支援ではなく、例えば1千万円以上の機器導入に1割の補助金を交付するなど、市単独の直接的な支援策が必要ではないですか。

(A)松浦市長：機器の購入等には市の既存補助制度の活用を。それ以上の直接的な設備更新補助は、今の行政の中では限界があると思います。今後は皆様方の意見を聞きながら見直し等々をやりたいと思っています。



▲11月19日中海ものづくりフェアでの東出雲の企業群

Q2、学校教育の復興について

東出雲町では校図書館活用教育の体系で各学年毎に目指す取り組みを示し、最終的に中学3年生の姿を描く学びの指針を共有していました。小中一貫教育の柱となるものであり、既に全国的な評価を受けている東出雲町の体系表をモデルとし、市の考え方を早急に示すべきです。

(A)坂根副教育長：市学校図書館支援センターでは、育てたい子供の姿をもとにして、9年間を見通した市標準となる体系表を作成中です。体系表作成委員会を設置し、東出雲中学校区の体系表の良さも取り入れながら、平成24年3月末の完成、4月には市の体系表を各小中学校に示し、活用する考えです。

東出雲町では、各学校と教育委員会が学校図書館支援センターを介して「プロジ

エクト会議」が有効に機能していました。各中学校区にこの会議の役割を果たすような組織と市全体の組織を平成24年度から設置する考えはありませんか。また、学校司書の安定的な雇用による配置と、学校図書館の消耗品や図書購入費の確保について、平成24年度当初予算の考え方を質問します。



▲図書館で行われる授業

(A)坂根副教育長：平成18年に学校図書館支援センターを設置し、学校図書館の活用支援を行っています。また、市学校図書館支援センター調査研究会を設置し、加えて、全体会なども開催し、学校図書館機能の充実と学校図書館活用教育の推進に努めています。市全体の推進は、学校図書館支援センター調査研究会で行います。また、学校司書は来年度も引き続き、松江市内全小中学校への配置を予定しています。学校図書館の消耗品や図書購入についても、出来る限りの予算確保に努めます。

東出雲町では小学生に英語を早くからなじませようと、国際理解教育を推進。今後の安定的な英語指導助手の確保と効果が見込める授業時間数の確保を質問します。

(A)坂根副教育長：授業時間数は、平成24年度も本年度とほぼ同じです。英語指導助手は、東出雲町では外国人講師がほぼ一日中小学校に勤務していましたが、合併後

の新市では、A.L.Tを小学校35校中32校に配置。また、外国語活動指導協力員も32校に配置し、授業時間帯のみ勤務し授業の効率化を図っています。

東出雲地域は、特別支援教育支援員が各校1名の配置です。特別支援教育の更なる充実のため平成24年度も引き続き配置を求めます。

A坂根副教育長：今後も引き続き、学校や学級の状況を把握し、人的配置の必要性を十分に精査した上で、対象の児童生徒に応じて特別支援教育指導員など必要な配置に努めます。

Q3、子育て支援事業について

携帯電話を使ったホームページ「東出雲子育てほっとネット」は、合併と同時に閉

鎖され、大きな不満の声が届いています。平成17年度に先駆的事業として全額補助を受けて開設したものが、再開の考えはありませんか。

A 渡部健康福祉部長：子育て情報の



▲子育てには多面的な支援が必要です

提供は市ホームページにも掲載しています。携帯電話からの直接閲覧は現在できないので、今後は携帯電話からのアクセスを可能にするなど、子育てほっとネットも参考にしながら、検討したいと思います。

東出雲町では、24時間、365日対応の携帯電話相談で、子育て相談やDV相談などに応じていました。このような事業を行う考えはありませんか。

(A) 渡部健康福祉部長：現在、24時間対応の県の児童相談所や女性相談センターと連携協力を図っており、引き続きこの機能の活用で充分対応できると考えています。

「ほっとほんわかハウス」事業は存続し、更には市内に波及拡大し、身近な居場所として子育て支援の拠点にすべきであると考えます。

(A) 渡部健康福祉部長：合併に伴い、東出雲子育て支援センターを設置しました。ほっとほんわかハウス事業は、この支援センターの充実強化を図る中で、地元の皆さんとも十分協議しながら、一体的に事業が実施できるように進めていきます。

Q4、策定中の第5期介護保険事業計画で、介護保険料基準額が月額5,200円前後になるとの説明を受けました。東出雲地域の被保険者は1,550円の引き上げです。介護予防事業の充実などで見込み量の減少を計画に反映しつつ、介護給付費準備基金を取り崩して、保険料の軽減を図るべきです。

(A) 渡部健康福祉部長：保険料は、介護給付費準備基金や県の財政安定化基金を取り崩すことによって、可能な限り軽減できるような検討していきます。

Q5、インバウンド観光(外国人による訪日観光)の充実のため、エコ型の音声案内装置を電源のない市内観光地に設置してはと提案します。また、その装置を市内企業に発注する考えはありませんか。

(A) 内田観光振興部長：外国人観光客受け入れの大きな課題が言葉の問題です。エコ型の6カ国語の音声案内装置は、大変おもしろい装置だと思えますが、情報量が限定される面や知的所有権等の問題もあると思います。調査後に効果などについて検討してみたいと思います。

2月議会予定

2月24日(金)本会議・予算特別委員会

29日(水)一般質問

3月1日(木)一般質問

2日(金)一般質問・議案質疑・委員会付託

5日(月)予算特別委員会(質疑・分科会委託)

6日(火)7日(水)総務委員会

8日(木)9日(金)教育民生委員会

12日(月)13日(火)経済委員会

13日(火)15日(木)建設環境委員会

21日(水)予算特別委員会(分科会長報告採決)

26日(月)本会議

活動報告

都市計画線引き制度の廃止が課題となっています

松政クラブ視察研修

野々内は、保守系議員23人が所属する市議会最大派「松政クラブ」に所属しています。

松政クラブでは、11月14日と15日に、都市計画線引き制度の廃止についての先進地視察研修を実施し、野々内も参加しました。視察先の岡山県笠岡市と香川県高松市は、いずれも都市計画法上の線引きは廃止されていましたが、名称を変えて一定の独自の規制を敷き、市街化調整区域では規制をしつつ緩和して建物を建てやすくしていくというもので、実質の線引きは継続されていました。



まちづくり対策特別委員会

一方、12月13日に、市議会まちづくり対策特別委員会が開かれました。議題は、市街化区域と市街化調整区域を定めた松江市の線引き制度を廃止と見直しについての、請願と陳情の審議。廃止にはメリットとデメリット両方があります。メリットは調整区域の規制緩和などで、デメリットは中心市街地の衰退と都市計画税の代替財源など。東出雲地域にも関わる大切な問題で、総論と各論の両論について、時間をかけて調査研究する必要を感じます。

2011キラまちフェスタに参加しました

11月27日、東出雲ふれあい会館では「2011キラまちフェスタ」が開催されました。34のブースは展示や食品販売が行われ、ステージでは、コンサートなど楽しいイベントも。東出雲の元気を再発見するこのような催しは毎年実施してほしいものです。

私の担当する「おもたろやま面足山万葉公園を守る会」のブースにも、沢山の皆さんに訪れていただきました。



時おり辻立ちをして議会報告しています

国道9号線出雲郷IC入口交差点(陸橋下)で時おり辻立ちを行っています。昨年は、9月と12月、年末の3回行いました。概ね3日間連続して朝7時から8時30分ごろまでの時間です。12月には助っ人の皆さんにも立っていただき賑やかな辻立ちになりました。通りかけられたら手でもふってください。



ののうち誠後援会です

ののうち誠君は松江市議会議員として、この地域の課題を松江市政に届け、そして実現すべく精力的に取り組んでいます。私たちが引き続いて誠君の政治活動をバックアップしていきたいと思っておりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この度後援会だよりvol.2を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

**後援会にご加入いただき
一緒にまちづくりをしていきましょう。**

後援会事務局
松江市東出雲町出雲郷1670

ALL FOR HIGASHIIZUMO

プロフィール ののうち誠

昭和25年11月26日生まれ、61歳。

母と2人暮らし、子ども2人(結婚し独立)

住所/松江市東出雲町出雲郷1670

電話/0852-52-3117(FAX兼用)

【学歴】

昭和44年3月/島根県立松江農林高等学校卒業

【職歴】

平成11年4月1日/東出雲町企画財政課長

平成13年4月1日/東出雲町保健福祉課長

平成17年7月11日/東出雲町教育委員会教育次長

平成21年4月1日/東出雲町総務課長

平成22年4月1日/東出雲町参事

平成23年8月/市議会初当選

【活動歴】

出雲郷公民館主事(11年間)、出雲郷公民館運営委員、

体育協会出雲郷支部事務局、消防団第三分団部長、

出雲郷小学校PTA会長(3年間)、町PTA連絡協議会会長、

松江市農業委員